

「NGT 療法」について

この治療法は、卵巣癌の代表的な治療法です。NGT はノギテカンの略称です。

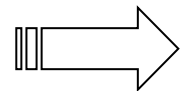
1. 投与方法

薬剤	効能または使用目的	投与時間
ソルデム3A	点滴ルートの確保	約60分
グラニセロン	吐き気止め	30分
ノギテカン	抗がん剤	30分

2. スケジュール

NGT 療法は21日サイクルで抗がん剤を投与していきます。初日から5日間、抗がん剤を投与すると、残りの16日間は「休薬期間」といい、体調の回復を待ちます。その後同様にして治療が進んでいきます。

	1サイクル目		2サイクル目	
	1日目～5日目	6日目～21日目	1日目～5日目	6日目～21日目
投与日	○		○	
休薬日		○		○



3. 特徴

●ノギテカン

作用: がん細胞の DNA と結合し、複製を阻害することで抗がん作用を示します。

注意事項: 点滴中に痛みや違和感を感じたらお知らせください。



4. 副作用

抗がん剤治療によって起こりうる主な副作用の種類、予防法、そしてそれが出現したときのひとまずの対応方法を知ることが副作用対策の第一歩です。ここでは比較的高頻度に出現する副作用と頻度は少なくとも注意が必要な副作用(有害作用)について掲載しました。

(ただし、頻度や強さには個人差があることをご理解の上で、参考にさせていただきたいと思います。)

白血球減少

白血球は体の外から侵入してきた細菌等に対して体を守ってくれる(免疫反応)役割があります。白血球が少なくなると細菌等による感染が起こりやすくなり、感染すると発熱や倦怠感などの自覚症状が現れてきます。場合によっては入院治療が必要な場合もあります。

好発時期: 抗がん剤を投与後7～14日目くらいに減少のピークを迎え、21～28日目くらいには回復します。

対策: 細菌は手を介して口から入ってくるケースも少なくありません。手洗い、うがいを心がけましょう。

外出時はマスクを着用してください。

虫歯が原因になることもあります。虫歯のある方は抗がん剤治療を行う前に治療をしておくことをお勧めします。

好発時期に38℃以上の発熱があった場合はご連絡ください。



血小板減少

血小板は血液を固まりやすくする働きがあります。血小板が少なくなると出血しやすくなります。

好発時期: 抗がん剤を投与後7～14日目くらいに減少のピークを迎え、21～28日目くらいには回復します。

症状としては、あざが出来やすい、鼻血などの粘膜からの出血が起きやすくなった、などです。

対策: ケガや転倒の危険性がある作業は避けましょう。

歯ブラシは毛の柔らかいタイプを使うと良いでしょう。



吐き気・嘔吐

好発時期: 治療当日から数日間

症状の出方は個人差があり、数日後から出てくる方や、

症状が7日間程度続く方もいらっしゃいます。

対策: 抗がん剤による吐き気の強さに応じて事前に吐き気止めの点滴を行います。

症状にあわせて吐き気止めを処方させていただきます。上手くコントロールできない場合はお伝えください。

考えすぎるとそれだけで症状が出てくることがあります。リラックスしてあまり考えすぎないようにしてください。

多くの場合、予防目的で抗がん剤治療前に吐き気止めの点滴を行います。

食事は無理せず、食べられるものを少量取っていただいても結構です。

水分(水、スポーツドリンク、など)はなるべく取っていただいた方が良いでしょう。便秘の予防にもなります。

便秘は吐き気の原因にもなります。必要に応じて下剤を服用することをお勧めします。

部屋の空気を入れ替えたり、趣味を楽しんだりすることで吐き気が楽になることもあります。



食欲不振・味覚障害

好発時期: 点滴終了後から数日間で起きてくることがあります。

治療が終了すれば回復してきます。

嗜好の変化や味を感じなくなる(甘味、塩味、苦味など)ことがあります。

対策: 食欲がない時には無理をせず、食べられるものを可能な範囲でバランスよく食べましょう。

口腔ケアによって味覚障害が予防できることがあります。清潔に保つよう心がけてください。

洗浄液をお使いの時は低刺激性のものをお使いください(水だけでも効果はあります)。

脱毛

好発時期: 2～3週間過ぎた頃から起こりやすいです。ただし、治療終了後2～3ヶ月で回復し始めます。

対策: 症状が現れたら、回復まではスカーフ、かつらなどを着用していただくと良いでしょう。

外出時は直射日光を避けていただくため帽子をかぶると良いでしょう。

頭皮を清潔に保っていただくことをお勧めします。ただし、刺激の強いシャンプー等は避けてください。



口内炎

口の中の粘膜が抗がん剤によって直接障害されてできる場合と、抵抗力の低下に伴う口腔内細菌の増殖によっておこる場合があります。症状は口腔内の違和感、疼痛、出血、冷温水痛、発赤・腫脹、などです。

好発時期: 抗がん剤投与後、数日～14日目くらいに発症しやすくなります。

対策: 次のような状態は口内炎が発症しやすくなります。

1. 口腔衛生状態の不良
虫歯、歯周病、舌苔が多い、義歯が合っていない、歯磨きやうがいができない(できていない)、など
2. 免疫能の低下
高齢者、ステロイドの使用、糖尿病、抗がん剤治療、など
3. 栄養状態の不良
4. 口腔付近の放射線治療
5. 喫煙
口腔内血流の低下、白血球・マクロファージの機能低下、歯石の形成などが原因と考えられる。

口内炎には予防が重要です！口の中を清潔に保ってください。

1. 食後の歯磨き
歯ブラシは柔らかいものを使用して不用意に傷を作らないように心がけてください。
2. うがい
歯磨き以外でも口の中が不快な場合(乾燥、違和感、口臭、など)はその都度行うことがよいでしょう。水でうがいしていただいても十分効果がありますが、マウスウォッシュを使用する場合は低刺激性のものを選択してください。
3. 禁煙
口内炎が出来てしまったら、刺激物や熱いものは避けてください。
水分は刺激を与えないよう、ストローを使うとよいでしょう。
必要に応じてお薬を処方しますので口内炎が出来てしまったらご相談ください。
水疱や、白苔ができた場合は早めにご連絡ください。

下痢

好発時期: 当日～数週間の中に起こることがあります。

対策: 水分を多めに取って脱水が起きないように心がけてください。

頻回の水様便や発熱を伴う場合はご相談ください。



間質性肺炎

間質性肺炎は、肺が炎症を起こし機能が低下する病気です。発症はまれですが、放置すると重篤化する危険性があります。症状としては**息切れ、呼吸困難、空咳、発熱**などが起こります。また、この症状は肺に病気を持っている患者さんほど起きやすいことが分かっています。上記の症状が出た場合は自己判断せずに早めにご相談ください。

対策: 初期症状は風邪によく似ているため自己判断せずに早めにご相談ください。



血管外漏出

抗がん剤を点滴しているときに血管の外に薬が漏れてしまう(漏出)ことがまれにあります。症状としては点滴部位の違和感、痛み、腫れ、などがあり、場合によっては血管に沿って症状が出てくるときもあります。もし、症状にお気づきになった場合は早めにスタッフにお声掛けください。

好発時期: 点滴している間が最も多く、まれに帰宅数日後に症状が出てくることがあります。

対策: 抗がん剤の種類によって対策が異なります。基本的には患部を温めたり、軟膏や注射による治療を行います。

※この他にも日常と違った症状がでた場合は病院までご連絡ください。

済生会宇都宮病院

薬剤部

代表:TEL 028-626-5500